

現・松戸市教育大綱（現・大綱）

○基本理念

みんなで育てる みんなが育つ 松戸の^{いま}現在、未来 ～「多世代がともにいきいきと暮らす」ために～

○基本理念を支える4つの柱

- 1 松戸に育つ子どもたちが、それぞれの能力や個性を伸ばせるような教育環境をつくります
—可能性にチャレンジする力を育みます—
グローバル社会で活躍できる人材の育成
- 2 子どもたちが地域社会の中で育つように、市民みんなで子どもの成長を支える環境をつくります
—松戸で子どもを教育したいと選ばれるようにします—
特色ある学校づくり
- 3 市民みんなが、いつまでも元気で学び続けられるように、学習活動や運動ができる環境をつくります
—高齢者も障害のある人も生きがいを持ち続けられるようにします—
地域で活躍する人材の育成
- 4 松戸で文化やスポーツの活動をする人たちが活躍できるように、多様性が尊重され可能性を発揮できる環境を整えます
—文化とスポーツで松戸の魅力を高めます—
松戸の地元愛の醸成

現・大綱の特徴

家庭教育・幼児教育から高齢者の生涯学習まで、多世代を対象とし明文化している（近隣8市※で松戸市のみの特徴）
※近隣8市：柏市、野田市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市、船橋市、市川市、千葉市

現・大綱での柱に紐づく施策

- 1 ●家庭教育支援の充実 ●幼児教育の推進
●小中学生の学力向上(小中一貫教育、言語教育)
●放課後の子どもたちの学習環境の整備 ●高校教育の充実
●児童虐待への対応
●特別支援教育、不登校支援、いじめの防止対策の充実
- 2 ●家庭教育支援の充実(再掲)
●幼児教育の推進(再掲)
●スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの配置
●学校支援人材の派遣による特色ある学校づくり
- 3 ●青少年講座、成人講座等の多様な学習・運動機会の提供
●社会教育関連施設の充実
●市民活動団体の活動支援
●地域に役立つ人材の育成
- 4 ●歴史、文化、芸術、美術に触れる機会の提供
●文化施設やスポーツ施設の環境整備
●市民の文化、スポーツ活動の振興
●外国との文化交流 ●スポーツ交流の推進



現・大綱の見直しに向けて重要であるとする視点



市長部局と教育委員会の連携による切れ目ない支援

ゴール 新たな支援やつながりを創出し、子どもの健やかな成長を地域全体で支える。

現在の取組み

- 放課後の子どもたちの学習環境の整備
- 児童生徒の安全対策の推進
- 特別支援教育や不登校支援の充実
- 外国人世帯の増加に伴う教育や支援の充実

※上記は平成28年度以降の総合教育会議で議題等になった内容

テーマ1 文化創造都市の実現に向けて

ゴール 松戸の文化とスポーツの振興を図り、松戸の魅力・価値を高める。

現在の取組み

- 文化と教養のまちづくりに向けて(資料5)
- 文化、芸術活動を発表できる場の充実(「PARADICE AIR」の推進等)
- スポーツ文化の向上(東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツ活動の充実等)

テーマ2 社会情勢の変化による学校教育

ゴール 子どもの能力や個性を伸ばし、グローバル社会で活躍できる人材を育成する。

現在の取組み

- Society5.0に対応したICT教育の推進
⇒GIGAスクール構想の進捗について(資料6)
- コミュニケーション能力の醸成(5歳児から中学3年生まで10年間の「まつど英語」の推進等)